

「人間尊重の教育」推進事業



相互承認の感度を高める
系統性・連続性のある指導の充実を図る



子ども一人一人が
「自分が大切にされている」と
実感できる学校づくり

令和7年度の共通テーマ

・「子どもの声を聴く」機会の充実
・パートナー校における自治的な活動の推進・充実

子どもからの積極的な発信
自分の思いや意見を発信し合い、実践して
いく機会の創出

よりよい学校・社会づくりに向けた活動

学校から



地域・社会へ

「人間尊重の教育」の推進に向けた取組

視点1 教職員自らの人間尊重の意識の向上

視点2 校種間の連携による連続性のある人
間尊重の教育に向けた取組の推進

視点3 子ども自身が自分を振り返り、人間尊
重の意識の高まりに気付く手だての構築

各校・パートナー校の取組

【人間尊重の意識の向上に係る取組の推進】
各校の課題や子どもの実態を捉え、教員研修や教育課程の見直し等の取組の充実を図る。

【「プラスのまほう」に基づく自治的な活動推進】
さっぽろっ子サミットなど全市の活動との関連を図り、
自校またはパートナー校との自治的な活動を推進する。

関連

【自治的な活動推進】

札幌市の子どもをつなぐ「さっぽろっ子自治的な活動」の推進

「さっぽろっ子宣言～プラスのまほう」に込められた願いを実現していく
よう、さっぽろっ子サミットの開催を契機に、各校の取組の充実につなげる。

「人間尊重の教育」推進校の取組

【研究推進】多様性に向き合う学校教育の推進

広い視野をもち同僚性を発揮しながら、様々な人権課題
に向き合い、教職員自らが相互承認の感度を高めるとも
に、誰一人取り残さず、全ての子どもの可能性を引き出して
いけるよう人間尊重の意識を高める研究を推進する。

【自治的な活動推進】子どもと家庭や地域をつ

なぐ「札幌らしいコミュニティ・スクールの推進
学校運営協議会とさっぽろっ子自治的な活動を
つなげ、子どもの声を学校運営に反映する。

関連

「人間尊重の教育」 フォーラム

教職員が「人間尊重の教育」
を推進するに当たっての諸課
題について協議及び講演等
を実施、改善、充実を図る。

全市の自治的な活動に係る
報告・提案など子どもの声を
届ける場の一つの機会とす
る。

札幌市の子どもの現状

令和6年度札幌市全体の共通指標「学習など」についてのアンケートから(数字は肯定的な回答)

質問(相互承認)	小学校	中学校
1.自分にはよいところがある	87.1%	83.0%
2.友だちのよいところを見つけようとしている	86.0%	90.7%
3.自分が必要とされていると感じる	73.4%	69.1%
4.人の役に立ててうれしいと感じることがある	91.4%	93.6%
5.人の役に立つ人間になりたいと思う	93.8%	95.5%

他者から承認される喜び
や大切さを感じながらも、
自分を承認することは結
びついていない傾向がある
ことから、子ども一人
一人が自分のよさや可能性に
気付いていくことが課題。

札幌市学校教育の基盤

子どもが、自分のよさや可能性を認識
するとともに、あらゆる他者を価値のある
存在として尊重する(共通指標1～5)
相互承認の感度を高め、様々な人々と
協働しながら様々な社会変化を乗り越え、
豊かな人生を切り拓き、持続可能な
社会の創り手となる教育を推進する。



さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」

市内の小中学校に通う全
ての子どもの声を集約し、つ
くった「プラスのまほう」を合
言第3。子ども一人一人が
自分が大切にされていると
実感することができるよう取
組を推進する。

